

井の中のシーラカンス いざ大海へ！

舞鶴高専 専攻科2年 西野 正純さん

若い人たちが舞鶴のまちを元気にしようとするさまざまな試みを行っています。舞鶴高専の西野正純さんもその一人。「舞鶴を熱く面白くしたいー」そんな思いから、人と人、人と舞鶴をつなげる情報誌「企てる。」を発刊したり、町屋を再生するプロジェクトに参加したりしています。

まちへの情熱を 「情報誌」という形に

もともと人と会ったり、話したりするのは苦手で、どちらかといえば一人でいるのが好きでした。そんな自分を変えたかったんです。そう思っ

て、西舞鶴のまち歩きをはじめ、さまざまなイベントや集まりに参加しました。そこで、たくさんの人たちと出会い「まちを変えよう、面白くしよう」という思いに触れました。

自分に「エモーション（わくわくする感じ）」を与えてくれた人たちをもっと知ってほしいと思い、情報誌「企てる。」を発刊しました。みんなの熱い思いを形にすることで自分の学びにもなると思ったんです。これがきっかけで、人とのつながりが広がり、自分の世界もどんどん大きくなっていきます。

古い町屋を再生し新たな形で活用

西舞鶴に幸嘉庵さいかあんという明治初期に建てられた木造2階建ての町家があります。その古い町家をギャラリーや市民が集う場として今に再生するプロジェクトにも参加しました。幸嘉庵との関わりは、以前、西舞鶴のまち歩きに参

加したときに出会った大滝雄介さんがきっかけでした。大滝さんは西舞鶴のまち並みの保存に取り組みされていて「企てる。」でも熱い話をしてくれた人です。その大滝さんの呼びかけで、西舞鶴に残る城下町の良さを今に伝えようと、市民グループ「KOKORN」が結成されました。「KOKORN」には、古い町家を再生し、新たな形で活用する中で、古いものと新しいものを結びつけるという意味があります。これからでもできるだけ多くの町家の保存・活用方法を考えていきたいです。

新たな「企て」を みんなで考えてみませんか

実は今、この幸嘉庵で新たな「企て」を始めようとしています。それは、自分の趣味や楽しいと思っていることを持ち寄ってみんなで話しながら「企て」をつくるワークショップです。仕事や家から一歩外に出て、まちに関わるきっかけになればと思っています。ぜひ、遊びに来ていただき、一緒に舞鶴を面白くしましょう。

《企てをつくるワークショップ》

【日時】2月16日(土)13時30分から

【場所】幸嘉庵（平野屋）

【問い合わせ先】西野さん（0909 062977・35955）、ブログ「井の中のシーラカンス」大海を知る。
(<http://ameblo.jp/maizuruemo/>)

編集後記

とうとうスマートフォンに買い替えました。フェイスブックにツイッター、ライン。「それで何なん？」いやはや全くついていけてないです。元気人の西野君じゃないけれど、自分こそがシーラカンス？いや化石かな。とはいえ、ここは広報広聴課。市政情報をどんどん発信していかなければなりません。広報まいづるや市ホームページの充実のもとより、幅広い世代に向けてあらゆる媒体を活用し、市民の皆さんをはじめ対外的にもタイムリーで分かりやすい情報を発信していきたいと思っています。お楽しみに！（竹原）。

最近、不規則な食生活のせいか、ダイエットで減量した体重がリバウンド中です（泣）。今年は少し体を鍛えて身軽になった体で取材に駆け回りたいです（高橋）。インフルエンザやノロウイルスが流行しています。手洗いうがい、早寝・早起き、おいしいものを食べて飲んでしっかり体力を付けて予防しましょう！もし、かかってしまったら無理はせず療養し、しんどくなる前に頼れるまちの「かかりつけ医」で受診を（小谷）。

